

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 12 日

仕事の内容	学校図書館指導員配置事業					
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係	課長名	佐藤 洋士

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実	総合計画書 (ページ)	31	

予算名	款 ¹⁰	教育費	項 ¹	教育総務費	目 ³	教育指導費	事業 ¹¹	教育指導管理事務費
-----	-----------------	-----	----------------	-------	----------------	-------	------------------	-----------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 児童・生徒数
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 毎日読書する児童生徒数を増やす。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 未読率(1日当たりの読書時間として「全く読書をしていない率」) 小学5年生、中学2年生(東京都学力調査の対象学年)
		③ そのために何をしましたか。 図書館指導員の配置時間を増やす。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 配置時間数

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	6,571	6,612	6,562	/	/
		成果指標	②の数値	%	小学5年生: 10.6 中学2年生: 23.4	小学5年生: 10.7 中学2年生: 21.9	小学5年生: 12.0 中学2年生: 21.5	/	/
		目 標	②の目標値	%	/	/	小:10%、中:21%	小:10%、中:21%	小:10%、中:21%
		目標設定の考え方		未読率を小学生は10%以下、中学生は21%以下を目指す。					
活動指標	③の数値	時間	10,989	10,321	11,194	/	/		

3	経費	事業費(実績)		円	16,262,980	16,558,149	18,564,175	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財源	一般財源	円	16,262,980	16,558,149	18,564,175	
			特定財源	円				
		(うち受益者負担)		円				
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05	
			所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	413,350	412,650	412,200			
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	16,676,330	16,970,799	18,976,375			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
		本事業は、平成15年度から平成17年度までの研究事業(試行)期間を経て、平成18年度から本格実施に移行した。当初は、小学校2校、中学校1校をモデル校に指定した。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成18年度以降順次配置校を増やした。児童生徒の活字離れや学力低下が問題となる中、基礎学力の定着を図る必要があり、学校図書館の有効活用を図る取り組みが各地で行われた。 現在は、市内の小中学校15校全てに配置している。

仕 事 の 内 容	学校図書館指導員配置事業			
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係 課長名 佐藤 洋士

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特に無し。
-------------	---

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取組んだ	取組手法 ⑧その他（お話会や本の修理などで図書ボランティアを活用している。） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 ボランティアとの打ち合わせ時間が不足している。		

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 学校図書館指導員の配置時間が足りない。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 1校あたりの学校図書館指導員の配置時間を増やすため、主要事業として予算の増額を図ったが、増額できなかった。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 学校図書館指導員の配置時間が足りず、図書整備等の作業が十分にできていない。	

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 学校図書館の施設整備及び指導員の能力の向上を図る。 ・引き続き、1校あたりの学校図書館指導員の配置時間を増やすため、予算の増額を求める。 ※1日4時間週20時間勤務→1日6時間勤務 ・学校図書館指導員の能力の向上させるため、指導員同士が課題や対策について話し合う情報交換会を実施する。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 情報交換会は指導主事を中心に実施するため、情報を共有する等、協力して実施する必要がある。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費を増加させる。